

事業名	アンコールワット国際ハーフマラソン／アンコールウォーキング
分類	スポーツ事業支援、組織化支援
協働団体	カンボジアオリンピック委員会 (NOCC)、カンボジア陸上連盟 (KAAF)
活動概要	<p>大会趣旨:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に向かって「非人道的な対人地雷の使用禁止」を訴える。 ・大会エントリー費用は義手義足支援と、地雷被災者の社会復帰・自立を支援するとともに、青少年エイズ予防支援活動等に使用。 ・健常者だけでなく、障がい者も、共に走ることを通じて、勇気と希望を与える。 ・公認及び協カツアの旅行代金の一部とその他寄付をカンボジアのスポーツ振興に役立てる。 ・カンボジアに対する世界各国からの支援に対し、感謝と元気なカンボジアを訴求する。 <p>テーマ: 「対人地雷被災者に義手・義足を！そして、エイズから青少年を守ろう！」</p> <p>主催: カンボジア陸上競技連盟 (KAAF)、カンボジアオリンピック委員会 (NOCC)</p> <p>主管: カンボジア陸上競技連盟 (KAAF)</p> <p>運営: アンコールワット国際ハーフマラソン組織委員会・実行委員会</p> <p>特別運営協力: <NPO>ハート・オブ・ゴールド、<NPO>日本医師ジョガーズ連盟</p> <p>後援: カンボジア王国政府、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、産経新聞、サンケイスポーツほか</p> <p>協賛: (株)コニシ、ステファニー化粧品、CAMBREW LTD.</p> <p>協力: アシックス、小学館、かねふく、はるやま商事(株)、ナシマポペラ(株)、両備グループ、(株)おもちゃ王国、絆郷、ベネッセホールディングス(株)、栄光スポーツ、(有)ハブ・エンタープライズ、岡山県スポーツ国際交流推進機構、(株)ライツ、鼓粋若衆板橋轟太鼓、(株)JTB 中国四国岡山支店、Go Adventure Asia、ハンディキャップ・インターナショナル、Village Focus International、Marathon Photo.com、ロイヤルアンコール国際病院、P. M. GREEN TRAVEL LTD.、</p> <p>開催日時: 2010年12月5日(日) 午前6時20分スタート</p> <p>種目: ハーフマラソン 21km(男女/車椅子男女)、 ロードレース 10km(男女/義足男女/義手男女)、 ファミリー・ラン3km(オープン)</p> <p>コース: アンコールワット周回特設コース(AIMS 公認)</p> <p>プレイベント: ・アンコールウォーキング(12/4): 運営:HG、 5・10km ウォーク、子ども達との交流 ・バイクラリー(12/4): 運営:Village Focus International ・前夜祭(12/4): 運営:観光省、HG)</p> <p>エントリー: オンラインエントリー(GAA 委託)、日本 HG 代行登録、現地登録 P.M.Green、現地登録KAAF</p> <p>参加者: 4,048人 ※参加者、参加国ともに過去最高。(プレイベント含めると4,425人) 53の国と地域(カンボジア、中国、香港、インドネシア、インド、イラン、日本、韓国、ラオス、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランド、オーストリア、ベルギー、クロアチア、デンマーク、フィンランド、フランス、ギリシャ、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、チェコ、ルーマニア、ロシア、スペイン、スイス、イギリス、ブルガリア、スウェーデン、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、カナダ、エクアドル、メキシコ、ペルー、アメリカ、トリニダード・トバゴ、カメルーン、南アフリカ、ウガンダ)</p> <p>チャリティ: US\$ 18,400(カンボジア赤十字、カンボジア・トラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、カンボジア障がい者陸連、HG) US\$ 255,617(第1回大会(1996)から第15回大会(2010)までの合計)</p> <p>特記事項: プレッジシステムでのチャリティーが増加。 15回大会を記念して、前夜祭をアンコールナイトとして開催。HG有森代表がロイヤル・モニサラボン受章。 運営マニュアルを作成、ロープワークでのランナー待機、誘導などを実施。</p>

